



2023年10月30日

各位

会社名 第一工業製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 山路 直貴
(コード番号 4461 東証プライム市場)
問合せ先 取締役 清水 伸二
(TEL 075-323-5955)

第2四半期連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年5月15日に公表しました2024年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想と本日公表の実績値の間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、同じく同日に公表しました2024年3月期通期の連結業績予想を下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

なお、2024年3月期第2四半期の連結業績につきましては、本日公表の「2024年3月期第2四半期決算短信」をご覧ください。

記

1. 第2四半期連結業績予想と実績の差異について

(1) 2024年3月期第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)の連結業績予想と実績の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	30,000	400	300	100	10.46
今回実績 (B)	29,200	△ 449	△ 379	△ 478	△ 50.03
増減額 (B - A)	△ 800	△ 849	△ 679	△ 578	—
増減率 (%)	△ 2.7	—	—	—	—
(参考) 前期第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	32,765	717	872	△ 396	△ 40.00

(2) 差異の理由

第2四半期累計期間の業績につきましては、『機能材料』セグメントの海外向け難燃剤が大きく落ち込んだことにより、売上高は予想値に対して2.7%減少しました。

損益面では各利益で黒字としておりましたが、主要分野の市況悪化、原材料・エネルギー上昇分の価格転嫁が遅れたことから、すべての項目において損失となり、予想を大きく下回る結果となりました。

2. 通期の連結業績予想数値の修正について

(1) 2024年3月期(2023年4月1日~2024年3月31日)通期連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	68,000	2,500	2,300	1,200	125.55
今回修正予想 (B)	62,000	1,500	1,300	400	41.81
増減額 (B - A)	△ 6,000	△ 1,000	△ 1,000	△ 800	—
増減率 (%)	△ 8.8	△ 40.0	△ 43.5	△ 66.7	—
(参考) 前期実績 (2023年3月期)	65,081	1,186	1,200	△ 407	△ 41.87

(2) 修正の理由

通期の業績予想につきましては、第2四半期累計期間の連結業績予想と実績の差異に加え、ウクライナ侵攻後の経済情勢の悪化、新たに発生したパレスチナ自治区の紛争勃発で混迷を増す環境など、先行きが不透明な状況が続いていることから、売上高は予想値を8.8%下回る見通しとなります。損益面では営業利益は40.0%減少、経常利益は43.5%減少、親会社株主に帰属する当期純利益は66.7%減少と大幅な減益となる見通しです。

確実な利益確保のための適正価格への転嫁、販売数量の増加、工場稼働率の向上による工費単価の低減等を行い、業績の「底入れ」を確定するように注力していきます。また、2023年4月から6ヶ月間で実施しておりました役員報酬30%減額は2024年3月まで延長し、さらには2023年8月から執行役員及び管理職も減額を実施しております。その他経費の削減についても実施しており継続してまいります。

3. 株主配当予想

2024年3月期 中間配当(1株当たり配当金 20 円)及び期末配当予想(1株当たり配当金 30 円)に関する修正はございません。

※業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上